

# 旭川市民劇場 入会のしおり



## ようこそ旭川市民劇場へ

旭川市民劇場は、会員が自主運営する演劇鑑賞のための団体です。会員制という仕組みは、手ごろな会費でより素晴らしい舞台を観るための試行錯誤の中から生まれたものです。

みんなで舞台を観続けるために知っていただきたいことをまとめましたのでご一読ください。

## どんなお芝居を観るの？

質の高いお芝居を味わうことが市民劇場の大きな目的です。知名度の高い俳優を集客目的で起用したり、短い稽古期間で安易に仕上げた芝居では、永く心に残る作品は期待できません。

旭川市民劇場では、事務局と幹事会で企画調査に基づき例会作品候補を提案します。サークル代表者会議等で企画説明を行い、会員の意見や感想を集めながら、よりよいお芝居を観られるように例会ラインナップを決定しています。

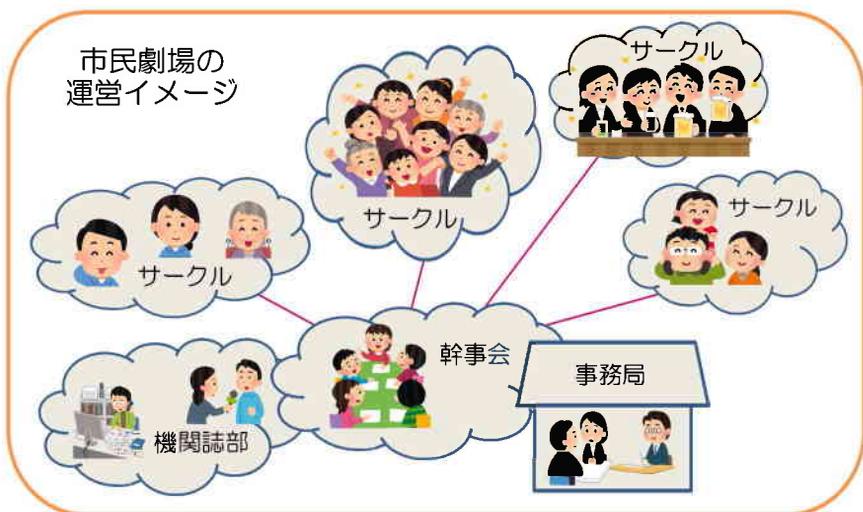
## どのように運営しているの？

市民劇場は、3人以上の会員で構成されるサークルの手によって運営されています。サークルは年6回ある例会（公演）の中から、担当したい例会を選んで運営に参加します。運営担当のサークルは、座席シールの発行や当日の運営、そして、観る仲間を増やす「前例会クリア」の活動をすることによって、市民劇場の発展を支えています。運営には、サークルの代表者だけでなく、お互い協力してみんなで参加しましょう。

毎年開かれる総会では、年間の方針や予算などが決められ、幹事の選任も行われます。幹事会は、運営全体に責任を持ち、日常的な事務は事務局が行います。また、機関誌部は機関誌「銅鑼」の編集発行を行います。

Q. サークルはなぜ3人以上なの？

A. ただお芝居を観るだけではなく、サークルの仲間と芝居の感想を語り合うことでより豊かな感動が得られます。



## 運営サークルって何をするの？

次のような活動をする中で、多くの会員と知り合い、仲間の輪を広げ、例会運営を支えます。

- ①観たお芝居の感想を語りあうとともに、これからどんなものを観ていくか考えます。
- ②迎える舞台の内容、劇団や俳優について情報を共有し、より深くお芝居を鑑賞できるようにします。

- ③座席シールの発行などの事前準備や、受付、会場整理、大道具・小道具の搬入搬出、会場アナウンス、台本・パンフレットの販売など、例会当日の仕事を分担して行います。（俳優さんの開演前の様子や舞台のセットアップ作業など、客席からは見えないバックステージを垣間見るチャンスもあります。）



（搬入作業）

- ④運営担当サークルの時には、芝居を観る仲間を増やすよう、身近な人たちに入会のお誘い（声かけ）をします。

- ⑤例会終了後、俳優さん、スタッフとの交流会を行うことがあります。俳優さんたちの舞台にかける情熱や素顔を知るチャンスです。（ロビー交流会または食事をしながらの交流会）



（ロビー交流会）

- ⑥運営の様子や芝居の感想などを機関誌「銅鑼」に掲載します。

そのほか、劇団の方などを招いての学習会、お花見や新年会などの会員交流会等、参加する皆さんの工夫で楽しい例会運営にしています。



（学習会）



（機関誌「銅鑼」）

# Q&A

よくある質問にお答えします

## Q1 一度だけ見たい人のためのチケットは販売しないの？

市民劇場は、チケット売りをせず安定した会員を確保することで、劇団との長期的な信頼関係を築き、適正な経費で良質なお芝居を観ることを実現しています。公演ごとにチケットを売るという興行的な手法をとると、俳優や作品の知名度や人気に左右されることで、財政的な基盤が不安定となり、継続的に良いお芝居を観て行こうという鑑賞会の目的を損なうことになると考えています。

## Q2 商業演劇や落語などは呼ばないの？

大手興行会社が上演する演劇作品（いわゆる「商業演劇」）にも良い作品はありますが、役者の知名度や、芝居の話題性だけにとらわれることなく良い作品を劇団とともに創りだしていくことは、市民劇場のような演劇鑑賞会のみができることです。

商業演劇や落語など異なるジャンルの舞台芸術については、さまざまな方法で公演が行われていますので、ぜひそちらでござんください。

## 観劇マナー

気持ちよく鑑賞するために  
守っていただきたいこと

**携帯電話・スマートホンの電源は切りましょう**

マナーモードでの振動音や液晶画面の光も観劇の妨げになります。

**撮影・録音は厳禁です！**

役者さんや劇団との信頼関係を壊してしまいます。

**会場内の飲食は禁止です。**

せきが気になる方は、事前にのど飴などを包装から出して準備しておきましょう。

**上演中のおしゃべりはやめましょう**

熱演に応じた拍手・笑い声は舞台を盛り上げますが、勝手なおしゃべりはNGです。お友達との会話は休憩や終演後のロビーで楽しみましょう。

